

家庭を『学びを支える』環境に！

# 自学好子をめざして

息長小学校

家庭学習には、復習を主とした『宿題』と自分の力を伸ばす『自主学習』があります。宿題【計算や漢字など、学校で学習したことをしっかり身につける】や自主学習【自分のために、自分で進んで学習する】を、時間を決め計画的に毎日続けることで、学習の習慣化がはかられ、学力向上につながります。そのためにも、学校と家庭が連携をし、子どもの学習の看取りと励ましがとても大切ですので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 『早寝早起き朝ごはん』から始まる基本的な生活習慣

日々の生活『早寝早起き朝ごはん』が要になります。毎日の生活で、早寝早起き、規則正しい食事を心がけることで、朝の排便ができる時間がうまれ、登校の準備もゆとりをもってできます。

朝、顔を洗って服装を整えるうちに、脳が働き始め、気持ちぐだぐだんと学校に向かっていきます。元気な声であいさつをして登校し、脳が活発に働き始めたところで授業が始まるので、効率よく学習内容が身につきます。しっかりと学校で働いた脳と体は、食事によって栄養を得て、睡眠によって脳を含めた体を修復し成長させます。



## 家庭でも集中できる学習環境を！



学校では、子どもたちが集中できる環境作りに気をつけています。学習に集中できるように教室環境を整えたり、使いやすく飾りのない文房具を使うように声かけをしたりして、様々な面で指導をしています。

家庭では、基本的な生活習慣の基盤の上に、学習の定着を助ける学習ができるようにすることが大切です。できるだけ決まった場所で、一定時間、テレビを消し、途中で席を立たなくてもよいようにするなど、学習に集中できる環境を整えることが必要です。

## 学習習慣の定着をめざしましょう！

学校で学習しても復習をしなければ、脳は不要な情報として整理し、忘れてしまいます。安定した生活のリズムの中で、毎日継続して学習に取り組むことが大切です。

低学年は、6年間の基礎になる大切な時期です。「宿題をきちんとやりきる」ことを身につけさせましょう。そして音読をしっかりとしましょう。この時期は大人の手助けが、自分で学ぶ子どもへと育てます。

中学年は、宿題をきちんとやりきるだけでなく、学習の時間を少しずつ長くしていく必要があります。特に、4年生から学習内容がさらに難しく感じられるようになります。自信をもち意欲を高められるような励ましが大切です。

高学年は、授業の予習や復習、自主学習など、自学自習の習慣を身につけさせることが目標です。中学校では教科担任制になり、自分で判断して予習や復習に取り組まなければなりません。見守りながら励ますことが大切です。子どもが安心して学べるように家族の協力が不可欠です。



## 準備は家庭と学校の学習をつなぎます

忘れ物をすると自分の勉強に困るだけではなく、授業全体に支障をきたすことがあります。みんなで学習しているのだから一人の問題ではないという集団の意識や責任感を育てるためにも、「忘れ物をしない」ということはとても大切です。

学校では連絡帳等に予定を書くように指導しています。自分の連絡帳と週予定を見ながら自分で準備することで、何が必要かをイメージし、見通しをもって学校に来ることができ、子どもたち自身も安心します。宿題や自主学習の後、翌日の準備をきちんとすませるようにしましょう。

